

# 地域で共に生きる力をはぐくむ

## ～市社協は福祉教育の取り組みを応援しています～

### 福祉教育ってなに？

福祉教育とは、地域に暮らすさまざまな人々との関わりや学びを通して、多様な生き方にふれ、命の大切さや思いやりの心、相手を理解しようとする豊かな心を育む活動です。

ふだんなかなか出会う機会がない人との交流では、「その人」を知り、一人ひとりが価値ある存在であることを理解します。そして、自分と違う部分や同じ部分に気づき、共感する中で、自分たちにできることを考え、実行し、違いを認め合いながら共に生きる力を育むことにもつなげています。

市社協では、学校だけでなく、地域や職場から「福祉について学びたいけれど、どのように進めるとよい?」「障がい当事者からお話を聞きたい」といった相談に応じています。

### 福祉教育をよりよいものに!

#### プログラムの相談、企画の実施

学校や地域、職場からの相談に応じ、体験を取り入れたり、福祉教育を進める上で重要な役割を果たす障がい者のゲスト講師の調整等を行います。また、体験グッズの貸し出しも行っています。



#### 福祉教育の人材づくり

豊かな学びにするためゲスト講師と一緒に、障がい当事者の目線でどのように伝えたいかなどについて考え、企画・実践しています。

また、体験学習の際の見守りと助言をする福祉教育サポーター（ボランティア）に協力してもらって、福祉教育サポーター同士の懇談会も実施し、よりよい福祉教育へとつなげています。

#### 教職員目的別研修の開催(市教育委員会との共催)

学校と連携し、福祉教育をより深い学びにするため、福井市教職員目的別研修の1コマに「福祉教育」を位置づけて実施しています。今年度は、視覚障がい当事者がゲスト講師をつとめる福井県立盲学校の先生から、授業の中で児童に伝えていることや大切にしている思いを聞き、障がい理解や思いやりの心を育てる方法を学び、今後の福祉教育の展開を考えました。

受講された先生からは「視覚障がい者についての正しい知識を、しっかりと子ども達に伝えていきたい」などの感想がありました。



▲オンラインによる研修

### 取り組みの紹介 (目の不自由な方の理解)

#### ●栗小学校 - 講話・ガイドヘルプ体験 -



▲オンラインで、目の不自由な方の「暮らしの工夫」や「こころのバリアフリー」を知る

▲栗地区社協の協力をえて、ガイドヘルプを体験

#### 児童の感想・気づき

- 目の障がいがあっても、私よりも上手に包丁を使って料理をしたり、一人暮らしをしたり、楽しく生活していることに驚きました。
- ガイドヘルプではたくさんのコツがあり、声をかけるとき「大丈夫ですか?」では、相手も「大丈夫」と答えてしまうので、「何かお手伝いできることはありませんか?」と言おうと思います。

#### ●灯明寺中学校 - 講話・ガイドヘルプ体験・点字体験 -



▲点字を教わる

▲盲導犬との暮らしの話聞く

▲伴走を体験

#### 生徒の感想・気づき

- 目が見えなくても、マラソンをしたり登山をしたりと、前向きに人生を生きているのがカッコいいと思いました。
- まだまだ自分の周りには点字が存在するので、理解してみると、世界観が変わっていくのではないかと思います。これから点字を見つけるのが楽しみです。
- 努力している人がたくさんいることを忘れず、自分も努力し続けていきたいです。

#### 問い合わせ

市社協ボランティアセンター(田原1丁目13-6 フェニックス・プラザ1階)  
【TEL】0776-22-0022(直通) 【Eメール】mag@fukuic-shakyo.jp